



大妻福祉 NEWS 2019 Vol.21

2019 年 秋号

2019 人間福祉学科 7つの履修モデル紹介!

大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科

ジョブコーチモデル

〔人間福祉学科 教授 小川浩〕

「ジョブコーチ（職場適応援助者）」とは、障害のある人が一般企業で働くことを支援する専門職員のことで、厚生労働省により研修制度と助成金制度が設けられています。ジョブコーチになるには、通常、障害者を雇用する企業や就労支援機関等で実務経験を積んだ後、高齢・障害・求職者雇用支援機構又は厚生労働大臣指定の民間組織が行う職場適応援助者（ジョブコーチ）養成研修（48 時間以上）を受講しなければなりません。大妻女子大学人間福祉学科では、7つの履修モデルの1つとして「ジョブコーチモデル」を立ち上げています。平成 30 年度 4 月から、そのカリキュラムが厚生労働省により職場適応援助者養成研修として認められることになりました。指定科目を履修し、卒業時に社会福祉士または精神保健福祉士の国家試験に合格することで、訪問型職場適応援助者及び企業在籍型職場適応援助者として認定されます。大学で職場適応援助者の



資格を取れるのは全国でも大妻女子大学の人間福祉学科だけです。これからますますニーズが高まるジョブコーチ。あなたも目指してみませんか。

2019 年度 オープンキャンパス情報

* 多摩キャンパス

10 月 20 日(日)⇒大妻多摩祭と同日
(教員・学生の個別相談)

【在校生による個別相談もあります】

多摩キャンパスでは、**大妻多摩祭に合わせてオープンキャンパスを実施**します。個別相談のブースを設け、高校生や保護者の皆様の不安も解消できるように準備しております。

先輩学生も参加をします。多摩祭と合わせて、ぜひ実際のキャンパスで「見て」「聴いて」「体感して」ください。



左記日程以外でも、**11 月 30 日(土)**に**千代田キャンパスで個別相談**を行います。どうぞお越しください。

2018 年 4 月から、「人間福祉学専攻」と「介護福祉学専攻」を統合し、**人間福祉学科の 1 学科制**になり、**より学びやすく、なおかつ進路を選びやすくなりました**。定員は、これまでと同じ、100 名です。

国家資格である**社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士**(30 名養成)については、引き続き必要な科目を履修することで国家試験受験資格を取得できます。

「未来の姿：医療 SW」



〔西田 真菜さん 2018 年 3 月卒業〕
勤務先：NTT 関東病院総合相談室）
出身高校：掛川西高等学校

私は現在、社会福祉士・精神保健福祉士の 2 つの資格を持って総合病院で働いています。相談室での業務は、転院の相談、経済的な相談、社会資源の利用の相談など、多岐にわたります。また精神科病棟もあるため、退院後生活環境調整員として入院中の患者さんの支援も行っています。

患者さんやご家族のこれまでの生活について話をうかがい、気持ちに寄り添いながらその人に合った支援のあり方を考えていくのはとても難しいことですが、そんなときに医療ソーシャルワーカー（MSW）としての仕事にやりがいも感じています。大学で学んだ知識は、どれも現場での実践に活用できるものばかりですが、特に 3 年次の福祉現場実習での経験を通して考えた「ソーシャルワーカー像」を、いつも頭に浮かべながら日々患者さんと関わっています。医療機関におけるソーシャルワーカーは、患者さんに寄り添い支援していく仕事であり、時には医師・看護師と患者との橋渡し役としての役割も担っていると思います。医療ソーシャルワーカーのことを多くの方々に知ってもらいたいです。

「教えて先輩：ダブル資格!」



〔介護福祉学専攻 3 年 村越寿希さん〕
出身高校：新潟県立長岡大手高等学校

私は、介護福祉士と社会福祉士の国家資格の取得を目標として大妻女子大学へ入学しました。この分野に興味を持ったのは、小さい頃からお年寄りが身近にいる環境で育ってきたことや、高校時代に福祉を学び、おもしろいと感じたことがきっかけです。2 つの資格取得となると授業数も多いですし、課題に追われることもあります。私自身、進学については短大や専門学校にするか 4 年制の大学にするかとても悩みました。しかし、短大や専門学校でも同資格の取得はできますが、4 年間という時間をかけて、じっくりと福祉の分野を学ぶことには何か意味があると思い、進学しました。大妻女子大学で約 3 年間を過ごして言うことは、時間をかけている分、多くの事例と向き合い、体験し、現場で働く上での「糧」をたくさん得ることができるということです。この「糧」は、将来、福祉の分野で働こうとしている人だけでなく、どの分野に進んでも役に立つものだと考えます。途中で進路に迷ったとしても、無駄にはなりません。大妻女子大学に進学し、さまざまな経験ができたからこそだと思います。

「児童虐待防止啓発活動」

オレンジリボン運動

『誰もが子どもを見守り隊』の紹介

大学での学びの一環として、学生が主体となって児童虐待防止啓発活動「オレンジリボン運動」に取り組んでいます。

学生自ら、児童虐待防止啓発だけでなく、積極的な子育て支援や、多様な状況にある人々と共存していることを学ぶという視点も含めた「誰もが子どもを見守り隊」と名付けて活動しています。

活動としては、千代田区や警視庁、企業等と一緒に、東京駅八重洲口で通行人にオレンジリボンやオリジナルのリーフレットを配付したり、多摩社会福祉協議会で行われる福祉フェスに参加します。



さらに、大学祭では、電車とホームの段差を再現し、ベビーカーを押す体験と、同じ状況を車椅子を使う体験を実施し、周囲の手助けがどのくらい当事者にとっては必要なことを考えて頂く等の体験企画やパネル展示を実施しています。

文献や事例から考え、学ぶだけでなく、学外に出て実際に活動し、様々な人と関わることから深まる学びもあります。

お問い合わせ先

大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科
〒206-8540 東京都多摩市唐木田 2-7-1
電話：042(372)9198
FAX：042(372)9202

（問い合わせ）下記の入試担当教員まで
fujiko.s@otsuma.ac.jp（佐藤富士子）
shu_inoue1@otsuma.ac.jp（井上修一）